

会報で見る20年間の
日本感覚統合学会の歩み

日本感覚統合学会 監事

山田 孝



日本作療法士協会による基礎コース

東邦生命業教育体育センター1981年11月25日～28日

第 1 号
昭和57年
4月

日本感覚統合障害研究会 会報

〒060 札幌市北区北12条西5丁目 011(711)2111内3382
北海道大学医療技術短期大学部

発行人 佐藤 剛
編集人 山田 孝
印刷 中西 印刷

日本感覚統合障害研究会 設立総会開催される

昭和56年11月24日(火)午後7時から、東邦生命教育体育センター研修会館において、日本感覚統合障害研究会設立総会が開催されました。当日の出席者は40名で、まず仮議長に土田玲子氏を指名し、同氏がこれまでの経過を説明しました(別掲)。次に、議長に鷺田孝保氏を選出し、(1)会則、(2)役員、(3)会費、入会金、(4)入会手続、(5)事業を討議し、別掲のとおり決定しました。(写真議長席; 鷺田氏、中央坐っているのが会長に選出された佐藤剛氏、その左が山田孝事務局長)



研究会会報第1号 1982年4月

第 3 号

昭和58年

3月

日本感覚統合障害研究会 会報

事務局 〒060 札幌市北区北12条西5丁目 011 (711) 2111内3382
北海道大学医療技術短期大学部 山田研究室内

発行人 佐藤 剛
編集人 山田 孝
印刷 中西印刷

認定コース終了者第1号に斎藤祐子氏

第1回認定Dコース開催される

昭和57年11月2日(火)、3日(水)の両日にわたって、感覚統合療法認定コースの第1回Dコースが東京都内で開催されました。

第1回Dコースは運営委員を中心とする第1回Bコースの受講者を対象とするもので、総会に引き続いて、翌日から開かれ、第1回Cコース合格者11名のうち、9名が受講しました。各受講者の症例発表の後、講師の佐藤剛、土田玲子両先生を中心として討論が行なわれ、その結果、合格者は1名で、残りの8名は昭和58年1月末までに、症例報告を再提出する必要があるとされました。

なお、第1回の認定コース終了者は斎藤祐子氏(関東通信病院, 作業療法士)です。おめでとうございます。同氏には認定証が授与されます。



第1回総会1982年11月1日 関東通信病院.
徳増厚三北里大耳鼻科助教授による記念講演

第 4 号

昭和58年

7月

日本感覚統合障害研究会 会報

事務局 〒060 札幌市北区北12条西5丁目 011 (711) 2111内3382
北海道大学医療技術短期大学部 山田研究室内

発行人 佐藤 剛
編集人 近藤 敏
印刷 中西印刷

認定証授与式挙行される

007は田村氏へ

昭和58年6月15日に開催された理事会で、感覚統合療法認定証の被授与者の推薦が提案され、承認されました。この提案は教育部長からなされたもので、関東通信病院作業療法士・斎藤祐子、新潟はまぐみ小児療育センター作業療法士・佐藤ヨシイ、青森日赤はまなす学園作業療法士・工藤禮子、横浜市養護教育総合センター作業療法士・榎美佐子、富山県立高志学園作業療法士・田村良子の各Dコース終了者のほか、アメリカのCSSIDから認定証を授与されている佐藤剛、土田玲子の両氏が推薦されたものです。

理事会終了後ただちに授与式がおこなわれました（写真上：佐藤会長から認定証を授与される佐藤ヨシイ氏、写真下：認定証を授与された左から佐藤剛、田村、佐藤、土田の各氏）。また、当日出席できなかった斎藤、榎の両氏には翌日伝達され、工藤氏には郵送されました。

なお、認定証番号の001は佐藤剛氏で、以下002土田玲子、003斎藤祐子、004佐藤ヨシイ、005工藤禮子、006榎美佐子、007田村良子の各氏となっています。



1983年6月15日
の理事会で認
定者決定

001佐藤剛、002土田玲子、003斎藤祐子、004佐藤ヨシイ、
005工藤禮子、006榎美佐子、007田村良子

第2回感覚統合障害研究会：

久保田競先生（京都大学）

を迎え盛会裡に

去る10月31日（月）、関東通信病院講堂で第2回感覚統合障害研究会が開催された。

午前には会員発表が4題。侑愛会つくしんぼ学級の平松サナ枝さんの「前庭一両側統合障害に対する評価及び治療」、福岡市立心身障害福祉センターの吉村幸子さんの「前庭覚・固有受容覚刺激によって認知の発達を試みた一症例」、高志学園、田村良子さんの「当園における感覚統合療法実施の検討」、国立犀潟療養所リハセンター、早川昭さん、同療養所附属リハ学院土田玲子さん、藤縄 理さんの「精神分裂病者に対する感覚統合評価」。

午後は京都大学霊長類研究所々長久保田競先生の「新皮質における感覚統合と運動発現」というテーマの記念講演。1)新皮質の系統発生、下等哺乳類、霊長類、古人類、現人類の比較、2)新皮質の分業とそれを構成する機能解剖的単位（コラム）について、3)感覚系での情報処理、4)運動系での情報処理、5)統合系としての前頭前野の役割、6)Ayresの「感覚統合」理論についてという内容で行われた。



1983年10月31日 第2回大会 関東通信病院

第3回日本感覚統合障害研究会

酒田英夫先生(都神経研)を迎え



去る10月14日、裁判所共済組合東京宿泊所みやこ荘(東京・目黒)で第3回日本感覚統合障害研究会が開催された(写真上)。



第3回大会 1985年10月14日 裁判所共済組合東京
宿泊所みやこ荘

第4回感覚統合研究会特集

第4回感覚統合研究会が、さる61年10月18～19日の2日間、佐藤剛会長のもと、226名（会員108名、非会員118名）を集めて、東京新宿の戸山サンライズで開催された。特別講演、分科会2、ナイトセミナー5、会員発表7と多彩なプログラムで行われた。

特別講演は本研究会Aコースの講師としておなじみの加我君孝先生（帝京大）によるもので、「前庭神経系の発達・障害・代償の神経機構」というテーマで3時間にわたり、スライド、16mmを使って最先端の研究をわかりやすく紹介していただいた(写真)。

分科会については、A「感覚統合障害をどうとらえるか」、B「治療過程を掘り下げる」と2会場で行い、山田孝（北大）、土田玲子（長崎大）、佐藤剛（札幌医大）の3氏が中心になり、発表とケース検討が行われた。



1986年10月18-19日 戸山サンライズ
加我君孝 帝京大助教授の特別講演



感覚統合特別講演会 L.J.King先生
北海道大学100周年記念会館 1985年10月



第1回SIツアー Ayres先生と 1986年1月



事務局 〒060 札幌市北区北12条西5丁目 011(716)2111内3382

北海道大学医療技術短期大学部 山田研究室内

発行人 佐藤 剛

編集人 中川万里子

印刷 亀田印刷

エ ア ー ズ 博 士 逝 去 す

感覚統合療法の開発者であり、日本感覚統合障害研究会の名誉会長でもあるエアーズ博士が1988年12月16日に癌のため65年間の生涯をとじられました。日本の感覚統合療法の普及と発展のために、常に私達の心の支えとして存在していたエアーズ博士の死去は、誠に残念なことであります。過去数年の闘病生活のなかで、40年あまりの感覚統合研究にひとつの終止符を打とうと必死に生きていた姿が思い出されます。

エアーズ博士の感覚統合研究は、数多くの著名な研究者から高い評価を受けてきました。特に、作業療法の世界では最も卓越した研究者かつ教育者の一人として、作業療法の発展に多大な影響を与えてきました。感覚統合研究は作業療法の学問的体系づけに歴史的な足跡を残したことは明白であります。小児作業療法の理論構築に一生を捧げたと言っても過言ではありません。その研究および著作活動は2冊



第7回大会開催さる

日本感覚統合障害研究会 第7回大会が平成元年10月21・22日の両日、北九州市立貿易商工会館にて開催されました。東京を離れて初めての地方での大会となりました。北九州は10数年前にバイオレット・ウェルタ女史によって日本で初めて感覚統合の講習会が開催された所でもあります。また当地でのメアリー・シルバーザン女史の講習会も記憶に新しいところです。

佐藤 剛会長の「エアス博士を偲んで」という挨拶に始まり分科会5、教育講演2、会員発表9、特別講演1と充実したプログラムで行われました。佐藤会長は、昨年他界されたエアス博士の業績を讃えるとともに、我々に与えられ責任を述べられました。分科会は「精神障害者・老人に対する感覚統合」、「学習障害児に対する感覚統合」、「自閉児に対する感覚統合」、「重症心身障害児に対する感覚統合」、「精神発達遅滞児に対する感覚統合」の5テーマで活発に討論がなされました。教育講演Aは土田先生



1989年10月21-22日 北九州市立貿易商工会館
山鳥重先生(姫路循環器病センター一部長)の特別講演



第3回SIツアー 1991年1月3日-14日

清水信子, 片岡裕之, 伊藤純子, 有吉正則, 清原浩, 巢守順子,
東條美恵, 福田恵美子, 福田妃佐子, 小西, 山田



設立10周年記念パーティ 1991年11月2日京都大
(第9回大会(11月1日～3日)京都市障害者スポーツセンター)



多職種入門講習会 岐阜県恵那市



多職種入門講習会 新潟市



理事会風景



理事会後の風景 鷺田，中川，両元理事も



第10回大会 (1992年10月17日-18日 秋田大)



第12回大会（1993年11月5日・6日）
富山・北日本新聞ホール



第17回大会(1999年11月 広島県身体障害者リハセンター)
レセプション風景



第13回Aコース(1993年7月 北大医短大部)



第14回Aコース(1994年7月 京大芝蘭会館)



第15回Aコース(1995年7月 札幌医大)



'96年 8月 5日

第16回Bコース(1996年8月札医大)



第16回Aコース(1996年7月 札医大)



Aコース時の記念写真 IP(肢位模倣)

(第16回Aコース 東北・北海道地区参加者)



第18回Aコース(1998年7月 札医大)



Aコースの楽しみ(1995年, 15回, 札幌ビール園)



第21回Aコース(2001年8月1日～10日)東京・社会医学技術学院

第20回Cコース
(2000年8月 長崎)

